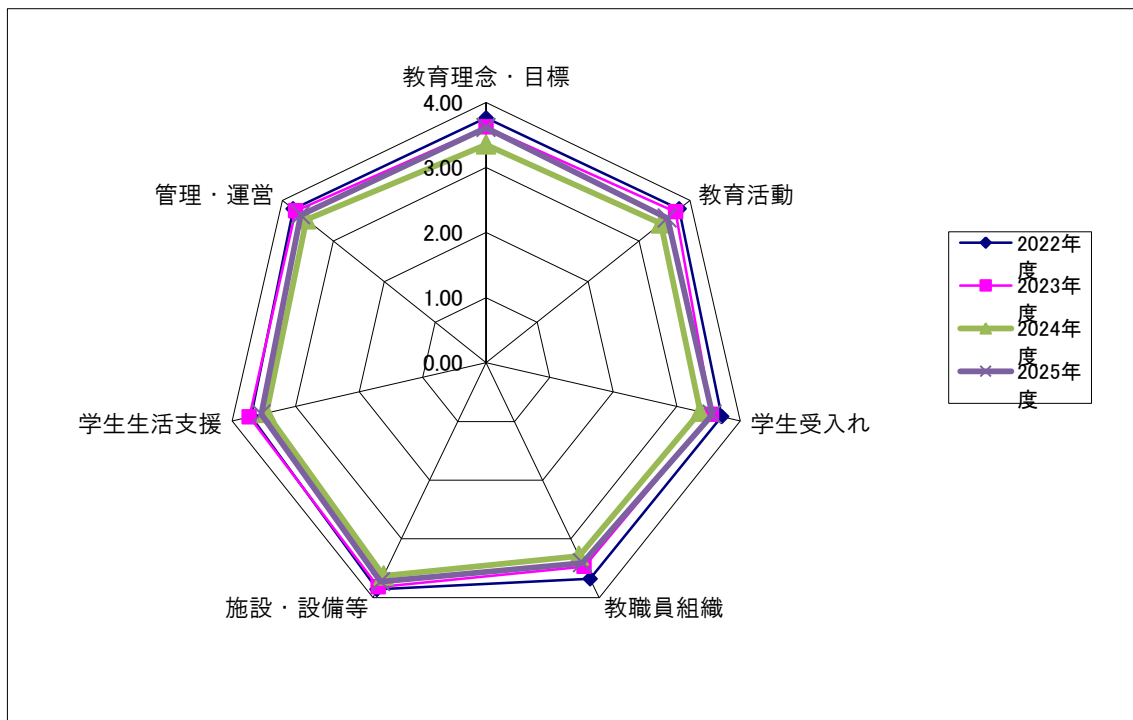


2025年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育理念・目標	3.76	3.62	3.35	3.61
教育活動	3.79	3.72	3.43	3.56
学生受入れ	3.71	3.55	3.37	3.56
教職員組織	3.68	3.47	3.29	3.41
施設・設備等	3.86	3.82	3.63	3.73
学生生活支援	3.70	3.73	3.46	3.54
管理・運営	3.79	3.74	3.53	3.64
平均(4点満点)	3.76	3.66	3.44	3.58



総合評価

自己点検・自己評価の結果は、全項目で毎年4点満点中3.5点前後で、概ね良好な学校運営ができていると評価されている。ただし、年度によって評価値の増減がみられており、一昨年度(2024年度)はほぼ全項目で評価値を下げた。これに対し、今回(2025年度)はほぼ全項目で評価値の向上がみられている。その中でも「施設・設備等」と「管理・運営」は毎年変わらず安定した高評価を得ている。「施設・設備等」では、一部の教室の椅子がパイプ椅子のため学生の学習環境として不適切との指摘もあるが、それ以外の備品(指定規則品を含む)や授業以外で学生が使用する教室や空きスペースも十分にあることが全体的な高評価の要因であろう。一方、毎年相対的に低い評価となる「教職員組織」は、特にこの2年間でPT・OT両学科の教員数が指定規則を下回っていることに起因するものと推測できる。ただし、学生募集停止に伴い、年を追うごとに在校生の減少が進んでいることから、教員の相対的な業務負担が増えていないことが今回の評価回復になった理由だと思われる。なお、「学生受け入れ」の小項目3-1~3-6は募集停止に伴い今回の評価は実施しなかった。

繰り返しになるが、募集停止から閉校に向けて在校生の数が減少を続ける中で、最終学生の留年制度を適用できないことから、学力最下層の学生に対する留年回避の為の方略(補講等の時間増や再々試験の導入、再履修科目取得の援助等)がこれまで以上に必要となる。

3学科共に最終学生が卒業するまで可能な限り良好な教育体制を図って行けるよう、全教職員が協力して学校運営を行うことが重要である。